

卒業証書授与式 式辞

三寒四温を繰り返す中で、校庭の木々が芽吹き、今、新たな季節の到来を感じる早春の佳き日に、多くの保護者の皆様のご臨席を賜り、ここに大阪府立牧野高等学校 第四十三回卒業証書授与式を挙行できますことは誠に慶びに堪えません。

只今、卒業証書を授与されました牧野高等学校 第四十三期、三百五十三名の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。牧野高校を代表して、皆さんのご卒業を心からお祝いします。

保護者の皆さまには、新型コロナウイルス感染症に係る昨今の想定外の状況の中、本日、ご卒業の日を無事お迎えになられましたお喜びは、いかばかりかと拝察します。心よりお祝い申し上げますとともに、ご入学以来、本校の教育活動にご理解ご協力を賜りましたことに、改めて感謝と御礼を

申し上げます。誠にありがとうございました。さて、卒業生の皆さん、私は皆さんの成長ぶりを三年間しっかり見させてもらいました。皆さんの多くは、学力を鍛え磨く一方で、体育祭や牧高祭、牧高フェス二〇二〇等の学校行事では、高校生活

を楽しみ、充実させていました。

新型コロナウイルス感染症が学校行事に様々な影響を及ぼした今年度、丸善インテックアリーナで何とか工夫して開催した牧高フェス二〇二〇では、全校生徒を楽しませるために、生徒会長や実行委員長、応援団長の皆さんは、リーダーとしての覚悟や苦勞を経験し遅しくなつたでしょう。それを支えた生徒会役員や実行委員、副団長などを務めた皆さんも、リーダーとともに苦勞して、良き成長の糧を得たのではないでしょうか。

修学旅行では、沖縄本島の美しい海や自然、文化遺産とともに、民泊でお世話になつた地元の人々の温かさに触れることができました。いろいろなアクティビティで汗を流して、友との絆を深める一方、家族と遠く離れて暫く過ごす時間の中で、家族の大切さを改めて思ったかも知れません。

部活動では、三年間一生懸命練習に頑張つてきたキャプテンや選手の皆さんは、夢にまで見ていた三年生最後の大会が新型コロナウイルス感染症で、開催されず、心残りもあつたかも知れません。

それでも、部活動を通して身につけた身体的能力や技能、チームプレイや仲間との絆は、皆さんがこれから生きていく社会で役立つことでしょう。一方で、この三年間で失敗をしたり、物事が思うように進まず、「なかつたことにできればいい」

と思うことがあつた生徒もいるかもしれません。私の好きな小説家、原田マハさんの小説の中に、次の一節があります。「なかつたことにできればいい。そんなふうに思うことは、きつと誰にもあるよ、生きてれば。でもそうはいかないんだよ、

なかったことには、できない。それが生きてるってことなんだから。」ここに書かれているように、物事は全てが思うように進まないし、起きたことは無かったことにできないが、それがまた生きることの側面で、実は成長の糧になると思います。

さて、皆さんは明日から、朝寝坊をしても遅刻で先生から怒られることはないし、ピアスや化粧、服装で先生に注意されることもありません。宿題は無いし、一日中ゲームをしても自由です。自由は素晴らしい。日本国憲法は、思想・良心

の自由や信教の自由、表現の自由や学問の自由、居住・移転や職業選択の自由、旅行の自由を規定しています。更には、来年令和四年四月一日から改正民法の施行で、皆さんは十九歳で一学年下の十八歳の人たちと同時に一斉に成人になります。

成人として、保護者の同意なしに、自らの意志と判断で様々な契約ができ、住居や進路など自由に自分の人生を選択できるようになります。

自由は素晴らしい。ただし、自由は孤独と責任を受け止めることが一体です。それに耐えきれず、個性喪失と画一化を求めて全体主義になる大衆心理を八十年前に社会心理学者のE・フロムが『自由からの逃走』で書いています。ファシズムに陥らず、自由であるためには孤独と責任を受け止める必要があります。今後、科学技術の大幅

な進展で世界が、大きく変化していくでしょう。その中で、自由を守りながら、自分がどのような道を選んで進むか、自分の個性を活かし、自分の好きなこと、やりたいことを見つけて、社会的な役割や使命を如何に果たすかがとても大事です。

高校までは教科書があり、知識を得ることや答えのある問いに対して解答することが主でしたが、これからは、大学や専門学校等の高等教育機関や実社会に出て、答えのない問題への対応の仕方を身につけ、実際に、解決していく必要があります。

今まさに起きている新型コロナウイルス感染症のように、世界中の人が「なかつたことにしたい」けれども、「なかつたことにできない」ために、少しでも早く一人でも多くの命を救えるように多くの人たちが懸命に働き、対応しています。

「過去と他人は変えることができないが、自分と未来は変えることができる。」私は常にそう信じて、自分の立場で勇氣と忍耐と楽天性で立ち向うつもりです。今、牧野高校の校長として願うのは、どんな世界になろうとも、ここにいる四十三期生

が、自分の個性を活かし、無限の可能性を信じて自分の未来を切り開いてほしいということです。

You can do anything you set your mind to.
The sky's the limit. 「やろうと決めたら何でもできるさ。限界などないさ。」限度なしの The sky's

the limit. 青天を衝いて二十一世紀を生き抜いて欲しい。これを卒業の饞に贈りたいと思います。最後に、保護者の皆さまには、三年間牧野高校に温かいご支援を賜り、心より御礼申し上げます。結びに、ここにいる卒業生の新たな旅の始まりを

皆様とご一緒にお祝いして本日の式辞とします。ボン・ヴオヤージュ 皆さんの良き旅を祈ります。卒業おめでとう。

令和三年三月一日

大阪府立牧野高等学校

校長 日 笠 賢